

経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県 伊勢崎市

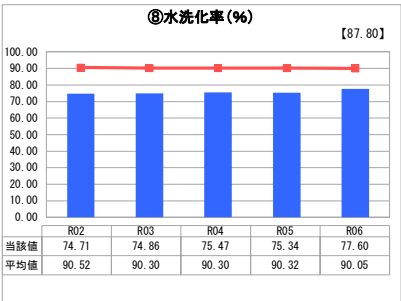
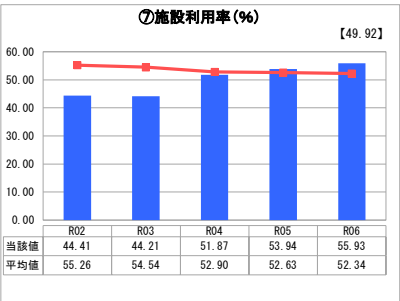
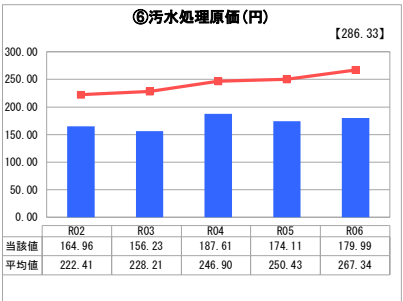
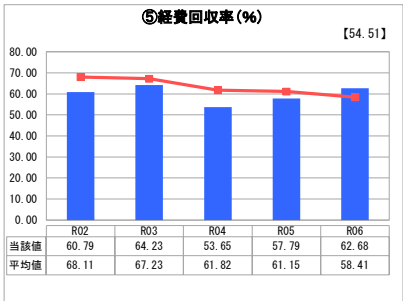
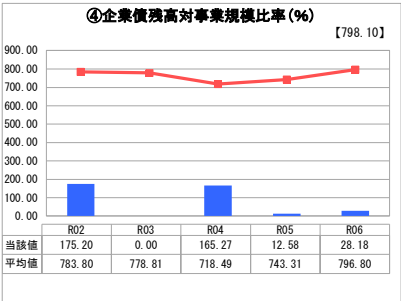
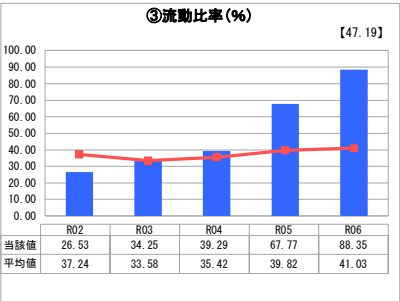
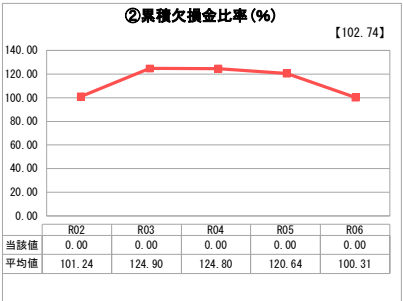
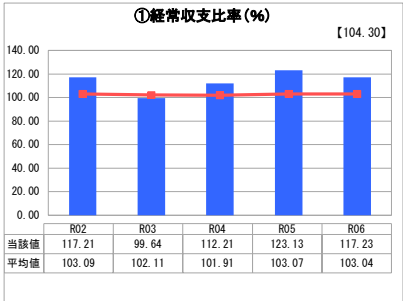
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	67.77	5.04	92.64	2,453

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
212,084	139.44	1,520.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,666	5.05	2,112.08

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



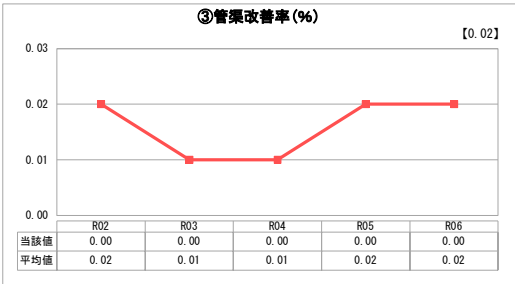
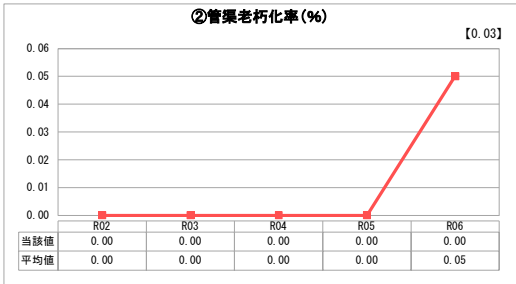
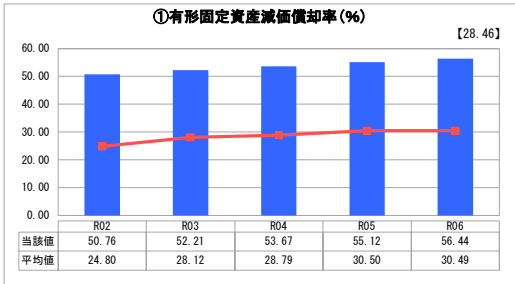
1. 経営の健全性・効率性について

- (1) 各指標と現状の分析
令和2年度より地方公営企業法の適用を開始している。
- ①単年度の収支が黒字であることを示す100%を上回っている。
- ②累積欠損金が発生していないことを示す0%となっている。
- ③100%未満であるが、未収金・現金預金の増等に加え、建設改良費等の財源に充てられた企業債が減少したことにより割合が増加している。
- ④平均値より低い状況であり、近年は大きな建設投資関連事業を行っていない。
- ⑤使用料改定により上昇したものの100%を下回る状況であり、使用料収入だけでは、汚水処理費を賄っていない。
- ⑥平均値より低い状況であり、効率的な汚水処理が行われている。
- ⑦⑧施設利用率は平均値と同等であるが、水洗化率は平均値より低い状況であり、今後も接続促進を進める必要がある。
- (2) 課題に対する今後の取組等
類似団体と比較すると、汚水処理原価が低いことから効率的な汚水処理が行えている。その一方で、水洗化率が低く、使用料改定を実施したものの使用料収入が十分に確保できていないため、経費回収率は低い。このため、今後も段階的な使用料改定を進め、収入増加を図るとともに、施設稼働の最適化も踏まえ、今後も市民の理解を得ながら接続促進に努める。

2. 老朽化の状況について

- (1) 各指標と現状の分析
①平均値より高い状況であり、各資産の老朽化状態を考慮し、施設の改築・更新や公共下水道への編入を検討している。
- ②③令和6年度末まで管渠の更新は行っていない。
- (2) 課題に対する今後の取組等
類似団体では管渠の更新が始まっているが、今後は資産台帳等を活用し、計画的な管渠の更新を予定している。

2. 老朽化の状況



全体総括

- (1) 各指標と現状の分析
使用料改定を実施したものの農業集落排水の維持管理費は、未だ農業集落排水施設使用料で賄っていない状況だが、汚水処理原価の平均値との比較から効率的な汚水処理が行えている。今後は、施設利用率や水洗化率の平均値との比較から、水洗化率を向上させ、施設利用率の向上を図る必要がある。
- (2) 課題に対する今後の取組等
農業集落排水整備区域内の接続促進を進め、施設利用率を向上させると共に、今後も段階的な使用料改定を進めることで経費回収率を向上させる。これにより、農業集落排水事業の健全で持続可能な経営管理に努めていく。また、処理施設の老朽化対策の一環として、公共下水道への編入の検討も引き続き行う。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。